



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

# MMS NEWS

2018 **5** 月号  
Vol.87  
毎月1回発行(通巻87号)  
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F TEL.03-5296-1933 <http://www.jmmpa.jp/>

## 第7回「全国医療経営士実践研究大会」札幌大会 2日間(10月20~21日)の大会プログラムが決定!

### 異なる業種の医療経営士3人が特別講演で登壇! 演題発表は「支部推薦」と「一般」の2部門へ

#### ●第7回札幌大会 大会プログラム

1日目 10月20日 開場12:30	
13:00~13:25	開会挨拶
13:25~14:25	基調講演 病院リーダーの挑戦と創造とは?—新しい地域医療の構築を目指して(仮) 未定(現在交渉中)
14:35~15:15	医療経営士 特別講演1【医療機関部門】 草野真暢(北海道文教大学人間科学部理学療法学科教授/ 元社会福祉法人北海道社会事業協会小樽病院[小樽協会病院]診療部長)
15:15~15:55	医療経営士 特別講演2【医薬品部門】 柴田和典(武田薬品工業株式会社ジャパンファーマビジネスユニット 営業戦略部フィールドマネジメントグループ主席部員)
15:55~16:35	医療経営士 特別講演3【金融機関部門】 眞田心哉(株式会社千葉興業銀行法人戦略部コンサルタント支援室 部長代理[医療担当])
16:45~18:10	医療経営士 2018年度研究助成・中間報告 —指定課題「医師・看護師等の働き方改革」 【選考委員長挨拶】 尾形裕也(九州大学名誉教授) 【中間報告】
18:30~20:30	懇親会(全国医療経営士情報交換会)

2日目 10月21日 開場8:30	
9:00~9:05	審査委員長メッセージ 発表にあたり 吉長成恭(県立広島大学大学院経営管理研究科MBA客員教授/ 医師/医学博士)
9:05~9:10	審査委員紹介
9:10~11:45	演題発表セッション1【支部推薦】 テーマ:「顔」と「想い」の見える連携づくりを目指して ランチョンセミナー・休憩
11:45~12:45	演題発表セッション2【一般】 テーマ:自由
15:00~16:00	特別対談 新時代を切り拓く地域医療連携成功のカギ 大川原淳(医療法人社団医修会理事長) 川淵孝一(東京医科歯科大学大学院医療経済学分野教授)
16:05~16:25	講評・表彰
16:25~16:30	閉会挨拶

※4月16日現在。プログラムは諸般の事情により変更になる場合がございます。敬称略

大会1日目は、主催者、大会運営委員長による開会挨拶のあと、基調講演で幕が上がる。基調講演の演者は、現在交渉中だが、地元・北海道を代表する病院経営者を予定している。ぜひご期待いただきたい。

新しい地域医療の構築に向けて、医療経営士が果たすべき使命とは?

で行われ、好評だった医療経営士による特別講演を実施。元小樽病院「小樽協会病院」診療部長で、現在は北海道文教大学で教鞭をとる草野真暢氏、武田薬品工業株式会社の柴田和典氏、株式会社千葉興業銀行の眞田心哉氏が登壇し、大会テーマでもある「新時代を切り拓く医療経営士の挑戦と創造」についてお話しいただく。異なるバックグラウ

ンドを持つ3人は日頃、何を指して活動しているのか。医療経営士に求められる使命と実践のあり方・方向性を示す内容となるはずだ。

1日目の最後を飾るプログラムは、2018年度から当協会の新規事業としてスタートした第1回「医療経営に関する研究助成」の中間報告だ。選考委員長を務める尾形裕也氏(九州大

10月20日(土)・21日(日)に札幌ビューホテル大通公園で開催される第7回「全国医療経営士実践研究大会」札幌大会の大会プログラムが決定した。5月上旬には、いよいよ大会参加と演題発表登録のエントリーが開始される。前回大会の演題発表で審査委員奨励賞を受賞した3人の医療経営士から届いたメッセージ(2面)とともに、本大会のプログラムの概要を紹介する。

## 第7回 全国医療経営士実践研究大会 札幌大会 5月上旬より参加エントリー 演題発表登録の受付開始!



開催日時  
2018年  
**10月20日 土**  
**10月21日 日**

大会テーマ  
**新時代を切り拓く  
医療経営士の挑戦と創造**  
—「顔」と「想い」の見える連携づくりを目指して

大会参加料金を大幅引き下げより参加しやすくなりました!

●事前参加登録料金(税込)  
両日: 9,000円  
1日: 5,000円  
※会員価格  
※懇親会は別途5,000円

会場 **札幌ビューホテル大通公園** 札幌市中央区大通西8丁目

大会運営委員長 **田中繁道** 浜仁会グループ最高責任者/医療法人浜仁会理事長/日本医療経営実践協会北海道支部支部長

学名誉教授)の挨拶のあと、助成対象者(5月下旬に発表予定)による研究内容の報告ならびに質疑応答が行われる。指定課題「医師・看護師等の働き方改革」は、医療界が抱える重要課題でもあり、これまでにならぬ斬新な視点・発想からの研究を期待したい。

終了後は、全国から集まった医療経営士や協会関係者と親睦を深め、情報交換を図ることを目的とした懇親会が開催される。

**「支部推薦」と「一般」2つの部門に分かれて演題発表者が登場!**

大会2日目は、いよいよ医療経営士による演題発表だ。今大会ではセッションを「支部推薦」と「一般」の2つに分け、「支部推薦」は全国7支部から代表者を1人ずつ選抜し、「顔」と「想い」の見える連携づくりを目指して「をテーマに発表。自由応募となる「一般」はテーマも自由とし、幅広い内容の実践活動を報告する。発表時間は1人当たり約15分、「一般」の発表枠は医療機関内外から5〜7人程度を予定している。

審査委員長は、前回大会に引き続き、県立広島大学大学院経営管理研究科MB

A客員教授の吉長成恭氏が務め、各セッションのあとには、ディスカッションと質疑応答が行われる。演題発表は自身の日頃の活動を振り返るとともに、その成果を医療経営士同士で共有する場でもある。我こそはと思う方からのチャレンジをお待ちしている。

演題発表のあとは、医療法人社団医修会理事長の大川原淳氏と東京医科歯科大学大学院医療経済学分野教授の川淵孝一氏による特別対談「新時代を切り拓く地域医療連携成功のカギ」が行われる。医療法人社団医修会は北海道室蘭市において大川原脳神経外科病院を運営し、40年以上にわたる地域医療を支えてきた。モデルレーター役を務める川淵氏とともに、新時代に必要な地域医療連携のモデルとその実現に向けた成功のカギを探る。

その後は、吉長氏による演題発表の講評および受賞者の表彰式が行われ、閉会挨拶「次回仙台大会開催に向けて」で、2日間の大会は幕を閉じる。

大会参加ならびに演題発表登録のエントリーは、5月上旬より協会ホームページで受付開始。一人でも多くの医療経営士に足を運んでいただきたい。

**5月上旬  
演題発表登録  
受付開始!!**

**最高の舞台上で日頃の成果を報告しよう!**

**第6回広島大会審査委員奨励賞受賞者からのメッセージ**



活動の成果を数値化してわかりやすく伝える

**黒枝貴洋氏**  
社会医療法人敬和会  
大分岡病院  
医療福祉支援部

地域医療支援病院の紹介患者増への寄与という経営課題に対し、当院では全国でも珍しい専属の「営業チーム」を結成しました。このチームによる訪問活動の実践と、営業の効果をまとめた数値データを外部の方に評価してもらおうと考えたのが発表の動機です。

発表の内容にエビデンスを求めたため、業務での実践をできる限り数値化するよう心がけました。マイケル・サンデル氏などの動画を研究し、プレゼンスキルの向上も目指しました。受賞した結果、当院の院長をはじめ多くの職員から賞賛されました。加えて、他院から助言を求められたり、講演依頼があったり、私自身も驚くような成果がありました。

全国大会は、医療経営士の皆さんの日頃の取り組みに対し、院内外の方から評価を受け、新しい解決方法や取り組みについて多くのアドバイスをいただける場所だと思います。ぜひ、参加および発表にチャレンジしてください。



演題発表までの準備はとにかく行動あるのみ

**水田美紀氏**  
岡山大学大学院  
医歯薬学総合研究科  
医療政策・医療経済学分野修士課程

医療経営に興味を持ち学んでいく過程で、医療ツールズを知りました。観光業界における経験と学んだ医療の知識を活かして理解を深めるなか、座学だけでなく自分の考えをほかの人に伝えることが大切だと考え、演題発表に挑戦しました。

発表までは、とにかく行動あるのみでした。資料を読むだけでなく、時には飛行機に乗って、旅行会社や医療ツールズを実施している病院へ足を運びました。発表の直前まで内容の絞り込みを行うなど準備に力を入れただけに、受賞を知ったときは達成感でいっぱい、次のステップへ進もうと決めました。

発表を経て、所属研究室の先生方も医療ツールズに興味を持ってくださるようになり、ディスカッションができるようになったことが一番の成果です。自分の言葉で伝えることの大切さを実感し、多くの医療経営士の方と知り合えたことは貴重な経験となりました。札幌大会もぜひ参加したいと思っています。



自信につながる全国大会での発表

**渡辺 徹氏**  
名古屋第一赤十字病院  
管理局経理部長

自分の活動が目標までどの程度達しているかを客観的に捉え直したいと考え、発表することになりました。また、過去の演題発表にはなかった新しいテーマを提示したいという思いもありました。

発表を行うにあたって取り組んだのは、過去の活動を振り返ることです。具体的には、定量的・定性的分析を行い、PDCAが回っていることが確認できるデータをまとめました。また、自身の活動の実績の1つとして、『月刊医療経営士』の連載記事を活用しました。

発表の結果、次の課題を見つけることができ、受賞が自信になりました。さらに、受賞の影響がどうかかわりませんが、私たちの主催する研究会「医療経営士キャリア・イノベーション愛知」の参加者が増えたという成果もあります。

全国大会の大きなプレッシャーのなかで、自分が発信したい内容がどこまで表現できるか。そのための準備は大変ですが、その分、得るものは大きいと思います。ぜひ皆さんも挑戦してください。

**看護師の皆さまにご紹介ください! “明日から使える”看護師スキルアップセミナー**

**しっかり食べて退院につなぐ**

**in 福岡**

**看護師のための口腔の評価とケアセミナー**

**～基礎と実践～**

医療・介護の領域において、食べ物の入り口である口腔の状態を適切に評価し、しっかりケア・サポートするためのオーラルマネジメントの視点が重要です。本セミナーは、必要な基礎から実践まで、実技を取り入れながらしっかりと習得できる内容となっています。



開催日時 **7月7日(土)**

主催:株式会社日本医療企画  
開催日:2018年7月7日(土) 13:00~17:00  
会場:福岡国際会議場 404会議室  
参加費:3,000円 ※料金は消費税込  
定員:100人  
定員になり次第締め切らせていただきます

協賛:アサヒグループ食品株式会社  
後援:一般社団法人日本医療経営実践協会  
問い合わせ先:株式会社日本医療企画 九州支社 高場まで  
TEL:092-418-2828  
申込方法:【事前申込制】下記ホームページアドレスよりお申込みください。

セミナー内容

- 講義1 **今求められるオーラルマネジメントとは**  
講師:松尾浩一郎先生 藤田保健衛生大学医学部歯科教授
- 講義2 **現場で使える口腔ケアの手技と実践**  
講師:三鬼達人先生 藤田保健衛生大学病院看護長 摂食・嚥下障害看護認定看護師

<http://www.jmp.co.jp/seminar/nurse/fukuoka> (24時間受付)

詳細は → [日本医療企画](#) [看護師セミナー](#)

検索



好評  
発売中



素心  
「和文・英文」  
ぶれないやさしい

小林利彦 著  
日本医療企画 刊 定価1,620円(税込)  
こばやし・としひこ ●1961年、東京大学薬学部卒業。70年、オーストラリア国立大学医学大学院修了。アップジョンファルマステイカルズ社長、米国Eリリー社副社長、日本Eリリー社副社長兼R&D本部長、米国研究製薬工業協会対日技術委員代表などを経て、現在、東京大学校友会顧問・東京大学薬友会会長などを務める。著書に『国際人になるためのInsight Track』(日本医療企画)

# 書籍『素心—ぶれないやさしい—』を上梓 小林利彦代表理事代行 特別インタビュー

## 常に問題意識や何事にも興味を持ち 自分なりに解析する習慣をつけることが大切



イギリスのEU離脱やトランプのアメリカ大統領就任、金正恩の核武装など国際情勢は揺れ動いている。混沌とした時代を生き抜くためにはどのような視点、物事の考え方が必要だろうか。今春『素心—ぶれないやさしい—』を上梓した本協会代表理事代行の小林利彦氏に聞いた。

### 冷静に情勢を捉える 動じない心が重要

—今春、『国際人になるためのInsight Track』に続く著書として、『素心』を上梓されました。最初に、タイトルに込めた思いをお聞かせください。

本書の冒頭にも書いています。中国の唐代の書家である顔真卿が初めて使った言葉で、「平常心でもものの本質を見極める心」という意味です。つまり、「事にあって動じない心」ということで、私はこの言葉をとても大切にしています。—本書では、目まぐるしく変わる国際情勢について、鋭い視点で書かれています。現在の国際情勢をどうご覧になっていますか。

確かにここ数年、イギリスのEU離脱やトランプのアメリカ大統領就任、北朝鮮の核開発など、世間が驚くような出来事が続いています。しかし、本当に世界が目まぐるしく変わっているかというと、そんなことはないのではないのでしょうか。

—というのも、ITの発達により一瞬にして世界全体で情報が共有できるようになりました。ITのおかげで時間と距離の壁がなくなりました。ですから、多少の誤差があるとしても、ある日突然、大きな変化が現れる」ということはないと考えています。一見驚くような出来事も実はその前に何らかの兆候があったり、過去にも同じような事象が発生しているものです。そう考えて、冷静に情勢を捉えること、まさに「事にあって動じない心」が必要なのです。

—医療経営士の方々にメッセージをいただけますか。

医療経営士の皆さんに、仕事を始めるうえで役立つ①see it、②own it、③solve it、④do it—の4則をご紹介します。

新しい仕事を始めるとき、まずは周りの状況や課題をよく見て(see it)、その原因や本質を自分のものにして(own it)。自分のなかで消化できたら、解決策を考え(solve it)、最後は実行あるのみ(do it)という意味です。

組織のなかで経営のリーダーシップをとっていくには、自ら考え、それを客観的に評価し、見える化する冷静さと、経営者や現場職員に訴え、周りを巻き込んでいく実行力の両方が求められます。ぜひこの4つのitを念頭に、さまざまな仕事にチャレンジしてみてください。

また、医療経営士には、医療経営士としての自覚を持ち、知識を高めながら職場で活躍してもらいたいと思っています。それには、経営層や多職種にねばり強くかかわっていくことが大事。「しつこい」と言われたいものだと捉えて、どんどん現場に出て存在感を発揮してください。

# 初の「医療経営指導士」誕生！1級資格者に広がる活躍の場

協会公認の下、講座開催や講師としての活躍に期待

昨年6月、これまで医療機関勤務者のみに与えられていた「医療経営士1級」の資格を、医療機関外勤務者にも認めるという認定要件の改正が行われ、それに伴い誕生したのが「医療経営指導士」だ。

「医療経営指導士」は、1級資格認定者のみに認められた特権で、本協会へ名称使用の登録申請を行い、許可されると、「医療経営指導士」の名称を使用し、協会公認として事業を開催することができる。事業ごとの申請許可が必要となるが、「医療経営指導士」「医療経営士」の名称を冠した試験対策講座や研究会・講演会の主催が可能だ。

「医療経営指導士」は本協会ホームページで紹介のうえ、本協会が病院や企業から研修等において講師派遣の依頼を受けた際に、優先的に斡旋を行うなど、広報を含め積極的にサポートしていく。

初の「医療経営指導士」は北海道の平間氏に

このほど4月1日付けで、初の「医療経営指導士」が誕生した。医療法人で本部長兼事務局長を務め、北海道で初めて1級資格を取得した平間康宣氏だ。平間氏は、2018年度より北海道大学でスタートする、病院経営人材に関する教育プログラム「北海道大学病院経営アドミニストレーター育成拠点」において、医療政策学の武藤正樹氏(国際医療福祉大学大学院教授)や医療経済学の権文善一氏(慶應義塾大学商学部教授)といった名立たる有識者とともに名を連ね、「病院組織管理論」の講義を受け持つことになっている。

平間氏のプロフィールや「医療経営指導士」としての今後の活動に対する意気込みは、本協会ホームページで紹介しているので、ぜひ一度ご覧になっていただきたい。平間氏への研修等の講師依頼も本協会事務局で受け付けている。

「医療経営はおもしろい」をキャッチフレーズに、医療経営のおもしろさと医療経営士の魅力を広めたい!



平間康宣氏  
(ひらま・やすのり)  
医療法人仁友会 仁友会本部長、北彩都病院事務局長  
1968年生まれ。北海道出身。1989年旭川工業高等専門学校卒業後、外資系製薬会社勤務を経て、1998年石田病院(現医療法人仁友会北彩都病院)入職。2003年企画課長、2013年事務局長を経て、2016年より現職。

## 第23回「医療経営士3級」資格認定試験 結果詳報

# 3,686人が受験、新たに1,748人の合格者が誕生!

一般社団法人日本医療経営実践協会（代表理事吉原健二）は3月18日（日）、第23回「医療経営士3級」資格認定試験を全国55会場で実施。3,686人が受験し、1,748人が合格した。これにより、医療経営士3級の受験者は累計3万616人、累計合格者数は1万3,786人となった。今試験の結果詳細について報告する。

	第23回試験	第1～23回試験累計
申込者数	4,009人	33,884人
受験者数	3,686人	30,616人
合格者数	1,748人	13,786人
合格率	47.4%	45.0%

	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	618人(16.8%)	268人(15.3%)	43.4%
30歳以上39歳以下	1,284人(34.8%)	676人(38.7%)	52.6%
40歳以上49歳以下	1,178人(32.0%)	537人(30.7%)	45.6%
50歳以上59歳以下	575人(15.6%)	253人(14.5%)	44.0%
60歳以上	31人(0.8%)	14人(0.8%)	45.2%

	受験者数	合格者数	合格率
病医院勤務者	327人(8.9%)	161人(9.2%)	49.2%
医療関連企業勤務者	2,712人(73.6%)	1,372人(78.5%)	50.6%
金融機関勤務者	364人(9.9%)	97人(5.5%)	26.6%
大学生・短大生	27人(0.7%)	17人(1.0%)	63.0%
その他(個人等)	256人(6.9%)	101人(5.8%)	39.5%

※カッコ内の数値は全体に占める割合。小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。  
※勤務先別の「その他」には、弁護士、税理士等の士業、建設会社等の一般企業が該当する。

目指せ医療経営士!  
地域と医療の未来を創るのはあなただ。  
25,000人突破!!

医療経営士 3級 2級 1級 資格認定試験

試験日: 6-17, 6-17, 9-9, 10-14, 10-14, 12-2, 3-3

TEL: 03-5296-1933 FAX: 03-5296-1934 http://www.jmmpa.jp/

**2018年度試験ポスターが完成 掲示していただける会員の方を募集中!**

2018年度「医療経営士」資格認定試験ポスターを掲示していただける会員の方を募集中です。ご希望の方は下記お申し込みメールアドレスへ「医療経営士ポスター希望」と件名をつけ、お名前、所属先、肩書き、送付先住所、電話番号、必要部数をご明記の上、ご連絡ください。皆様のご応募をお待ちしています。

【お申し込み】 E-mail : info@jmmpa.jp

**〔結果概要〕(表1)**  
受験申込者数4,009人のうち3,686人が受験(受験率91・9%)し、1,748人が合格となった(合格率47・4%)。

**〔年代別構成〕(表2)**  
受験者数・合格者数ともに「30歳以上39歳以下」が最多、「40歳以上49歳以下」が続く。合格率も同様に「30歳以上39歳以下」(52・6%)がトップで、次点が「40歳以上49歳以下」(45・6%)だった。

**〔勤務先別構成〕(表3)**  
受験者数では、前回に引き続き「医療関連企業」が2,712人と突出して高く、全体の73・6%を占めた。製薬企業の団体受験の増加など、近年、医療関連業界で医療経営士資格の需要が高まっているのが背景と見られる。

なお、「医療関連企業」の受験者数は今回で累計1万3,751人となり、累計受験者数3万616人の44・9%を占めている。

**〔男女別構成〕**  
受験者数は男性3,272人、女性4,144人。合格率は男性47・3%、女性48・3%と大差はなかった。

また、今回までの累計受験者数は男性2万6,574人、全体の86・8%を占めた。一方、女性の累計受験者数は40,411人で、全体の13・2%にとどまった。

**〔都道府県別構成〕**  
前回同様、受験者数・合格者数ともに東京都が最多(受験者数5,066人、合格者数2,855人)。続いて大阪府(受験者数2,933人、合格者数1,388人)、神奈川県(受験者数2,233人、合格者数1,155人)が多かった。

# 医療経営士3級受験者、累計3万人を突破! 3級合格者は、累計1万3,786人に

## 医療経営士 3級 2級 資格認定試験

医療経営士 資格認定試験 日程

試験日 **2018年 6月17日**

受験エントリー期間 **4月17日火～5月11日金**

受験料支払締切日 **5月15日火**

	第24回「医療経営士3級」	第15回「医療経営士2級」
受験料 ※手数料別途	8,640円(税込)	15,400円(税込) 両分野受験者 13,400円(税込) 分野受験者 (分野合格者)
受験資格	年齢、学歴、国籍等の制約はありません	3級資格認定試験合格者かつ、 本会正会員
試験会場 (予定)	札幌・盛岡・仙台・東京・金沢・名古屋・ 大阪・広島・高松・福岡・鹿児島・沖縄	札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・ 大阪・広島・高松・福岡・沖縄

団体受験 ◇受験者10名を超える場合、団体としてまとめてお申し込みできます。  
◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。※審査があります

受験エントリー  
**5月11日 金まで!!**

同僚や  
お知り合いの方に  
ご紹介ください